

大阪府立箕面支援学校ホームページにおいていただき、ありがとうございます

箕面支援学校の校長として6年目を迎えました大角正弘(オオスミ マサヒロ)です。今年度も本校教育に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

本校初代校長である三木昭児先生は本校の教育理念について次の言葉を遺されました。「一人ひとりの子どもの生きざまは、その障がいの種別、内容、程度、その子をとりまく環境等々、一律ではないにしても「人間が生きていくあり方」の基本に差があるとは思えない。何物にもかえることのできない『生命の尊重』が、この教育の基本であることに変わりはない筈である。」この教育理念のもと、箕面支援学校は、昭和60年4月8日、大阪府立第十五養護学校として出発しました。当時より、豊能・三島地域における障がいのある子どもの教育のために取り組んできました。平成元年から10年には大阪府障害児理解推進指定校となり、府における養護教育と人権教育の発展に寄与してまいりました。平成20年に国における特別支援教育が制度化され、大阪府では府立養護学校を府立支援学校と改称したことに伴い、本校も「府立箕面支援学校」としてスタートしました。この特別支援教育のスタートにより、大阪府における支援学校の果たす役割は益々大きくなり、地域の支援教育のセンターとしての機能を発揮することとなり、地域の幼小中高校及び各市町教育委員会と連携を深めながら取組みを進めています。本校にはさまざまな状況に置かれた児童生徒が在籍していますが

『一人ひとりのいのちの輝きを大切に』

を合言葉に、すべての子どもたちの自立と社会参加をめざし、学校・保護者・地域や関係機関との連携を図り、子どもたちの障がいや発達の状態に応じた専門性の高い教育活動を行う学校の実現に教職員一同更に努力してまいります。

今年度の学校経営計画では、めざす学校像を次の4点とし、11項目の重点課題に取り組めます。保護者の皆様、地域の皆様、そして関係機関の皆様の益々のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【めざす学校像】

1. 児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動をすすめる学校
2. 支援教育に関する高い専門性に基づく教育をすすめる学校
3. 保護者や地域に信頼される開かれた学校
4. 児童生徒の生命を慈しみ人権を守る安心で安全な学校

【重点項目】

- ✚ キャリア教育全体計画を推進
- ✚ 「子どもと向き合える時間」の確保
- ✚ 教職経験年数の少ない教職員の資質・能力向上
- ✚ 自立活動におけるより広範でレベルの高い専門性の向上
- ✚ 学校ホームページの内容の充実とともに広報活動の充実
- ✚ 地域における支援教育の専門性向上のためのセンター的機能の充実
- ✚ 課題を抱えた児童生徒及びその家族への家庭教育支援の充実
- ✚ 様々な人権問題の解決をめざした教育を人権教育として総合的に推進
- ✚ 系統的な人権研修の在り方についてその方向性の確立
- ✚ 大災害への具体的対応策を推進・強化
- ✚ 医療的ケアを必要とする児童生徒の安全確保の推進